



## 「感情を表現する」

図画工作科顧問校長 佐久間小学校 平野 直孝

みなさんは、「嬉しい」「悲しい」「楽しい」「悔しい」・・・といった人間の感情を、作品においてどう表現しますか？子供たちにどう表現させますか？きっと、まずは「顔」「表情」で、その気持ちを表現しようと試みるでしょう。子供たちも、そう考えるのではないのでしょうか。その概念が覆される体験をしたので、ご紹介します。

2月の祝日、私は中部天竜駅から飯田線に乗って飯田駅で下り、徒歩10分ほどの距離にある「川本喜八郎人形美術館」へ足を運びました。正面玄関を入ると、「諸葛亮孔明」の手作り人形が出迎えてくれます。川本さんは、NHK人形劇「三国志」「平家物語」等で多くのファンを魅了した人形美術家です。この美術館では、人形劇に使用された約60体の人形が展示されていて、実際に人形を手で動かす体験もさせてくれました。動かすことが可能なのは、手・足等で、表情は一切変えることはできません。しかし、動作だけで、人間のすべての感情を表現できてこそ、人形は生かされるという体験をしました。さらに、人形の顔をよく見ると、左右で微妙に顔のつくりを変えています。カメラが左右どちらから写すかで表情に違いが出るように、人形の顔が作られているのです。このように、細かい部分までこだわって人形が作られていることを初めて知りました。



『諸葛亮孔明』（左）『鬼〜今昔物語より〜』（右） 川本喜八郎人形美術館蔵

「あの日あの時の気持ち（「3・4年上」）」「あの時あの場所わたしの思い（「5・6年上」）等、小学校の教科書では自分の気持ちを絵画で表現する題材があります。顔の表情はもちろん、動作や手足の動きまで意識して自分の気持ちを絵で表す工夫をさせてみるのはいかがでしょうか。

## 第3回図画工作科研修会(授業研)

### 3年「クミクミックス」

花川小学校 高田惇平 教諭

段ボールを組み合わせる活動から感じたことをもとに、表したいことを見付ける造形遊びを行いました。高田先生は、子供たちに思いきり素材と触れ合ってほしいと考え、大量の段ボールを用意したり、広い体育館の真ん中を活動場所に設定したりしていました。また、子供たちが自由に選べるように、大小様々な大きさの段ボールを用意していました。その結果、子供たちは大量の段ボールに目を輝かせ、自分の好きな大きさの段ボールを好きなだけ使って組み合わせていきました。段ボールカッターも事前の指導が生かされ、みんな慣れた手つきで使用していました。子供たち一人一人がしっかりと素材と触れ合い、そこから考えたことをのびのびと表現しようとする姿がたくさん見られました。



### 3年 どんどん変身! 「クミクミックス」

有玉小学校 清水 ゆい 教諭

段ボールを組み合わせる活動から、面白い組み方を見付けたり新しい形を発見したりする造形遊びを行いました。友達の作品を見合う時間には、どんな組み方をしているのか意見交換を行ったり、面白い組み方を写真に撮ってオクリンクで提出したりして共有する姿が見られました。高さ・丈夫さ・バランスなど、交流の際に見る視点が与えられていたため、子供たちは互いの組み方の面白さをたくさん見付けることができていました。授業の終盤では、観点に沿って自己評価をしたり自分が気付いたことを記述したりして、しっかりと活動を振り返る姿が見られました。



## 第56回 子どもの市展

1月8日～1月13日に、浜松市美術館にて「浜松市子どもの市展」が行われました。各校から集められた作品が美術館のフロアに一堂に展示されました。訪れた人々は、一つ一つの作品を興味深く見ていました。自分の作品が飾られて喜んでいたり、他校の友達の作品を見付けて驚く子、「どうやって描いたのかな。」と作品に興味を示す人など、様々な様子でしたが、みなさん子供たちの作品に興味津々でした。こうした場が、小さな「美」を広く伝える良い機会となればよいと思います。

作品の搬入搬出に御協力いただいた先生方、ありがとうございました。